

「大島かけはし」は、地域住民の皆様へ大島架橋事業に関する情報をお伝えするものです。

大島架橋事業は、今年度、本土側現道の測量と予備設計を行っています。

～「第3回 気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会」を開催しました～

大島架橋事業を機会に、将来の大島振興について地域住民や産業団体などの方々と行政が協力して、意見交換や課題検討などをする場となる「気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会」の第3回目が下記のとおり開催されました。

記

- | | | |
|----|----------------|--|
| 日時 | 平成21年10月18日(日) | 午後2時から午後4時まで |
| 場所 | 気仙沼市立大島公民館大集会室 | |
| 内容 | 1 開 会 | |
| | 2 挨拶 | 実行委員会委員長 菅原 昭彦 氏 |
| | 3 講演 | 「架橋で魅せよう大島の宝」
宮城大学 事業構想学部 教授 宮原育子 氏 |
| | 4 | 他地域における架橋後の事例紹介：山口県下関市豊北町「角島(つのしま)」 |
| | 5 | 今回のテ-マ「大島振興と架橋を考える上での課題の対応策」について |
| | 6 | 意見交換 |
| | 7 | 閉 会 |

一般来場者 約50人

委員長あいさつ



宮原先生による講演



事務局による説明



懇談会参加者との意見交換



(開催内容)

(1) 講演：「架橋で魅せよう大島の宝」宮城大学事業構想学部 教授 宮原育子 氏

気仙沼・大島地区の観光の歴史を基に、先人達の取り組み状況や、「海に浮かぶ緑の真珠」を永遠に保ち、大島らしい観光交流を創るための「大島の強み」「来訪者を迎えるためにこれから欲しいもの」などの講演がありました。

(2) 他地域における架橋後の事例紹介について(気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会実行委員会事務局)

平成12年度に架橋された山口県下関市豊北町「角島」について、架橋後の生活環境の変化や架橋にあたっての取り組み状況を、懇談会で掲げている「解決すべき課題」に併せて事務局より紹介しました。

(3) 実行委員会活動報告(熊谷委員：気仙沼市企画部長)

第5回実行委員会(平成21年7月10日)及び第6回実行委員会(平成21年9月18日)において、議論された内容、検討結果について報告がありました。

(4) 今回のテーマ「大島振興と架橋を考える上での課題の対応策」について(土生委員：宮城県気仙沼土木事務所長)

前回、第2回懇談会や事務局で開催した出前講座において、参加者へ募集を行い、提案のありました解決策について、取りまとめた結果と、それに基づいて実行委員会で行った「解決すべき課題」の対応策として整理した結果を報告しました。

(5) 意見交換

(参加住民・実行委員の主な意見)

＜対応策の役割分担＞ 課題の対応策として、マ-アップ^oの推進などがあるが、これらは誰が行っていくのか、住民が今一番しなければいけない事は何か？

土生委員回答：役割分担については、第4回懇談会までに関係者と調整を図りながら決めて、この場で改めて報告したいと思います。

また、住民が今一番しなければならないことは、皆さんに意識して考えて頂きたい、今後、意見交換を行う場を持ちたいと考えています。

＜観光スポットの整備＞ 龍舞崎周辺や小田の浜までの遊歩道など、あるものを活かして整備して欲しい。

＜懇談会について＞ 懇談会の名称について、「気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会」という名称は、ゼパ-ス^oで始まっている気がする。平成30年に供用が開始するのだから、「平成30年に供用を開始する架橋と大島振興を考える会」等に名称を変更して欲しい。

＜架橋事業の促進＞ 島内は高齢者率が高く、また、寝たきりの人が本土側に通院するのに多額の費用が掛かっている。1日でも早い架橋を望んでいる。

＜事業の進捗状況＞ 道路整備の進捗状況を教えて欲しい。

土生委員回答：大島につながる新道バイパス区間 2.5km は、来年の大規模事業評価以降の着手となります。現道利用区間 3.8km は、半分以上が待避所設置工事により整備されており、今後も、現道対策について、地元の説明しながら進めたいと考えています。

(実行委員会から)

会場でお配りした資料の中に、御意見・御感想等を記載する用紙と返信用封筒(切手は不要)を合わせて配布しました。

今後の参考とさせていただきますので、懇談会の場で発表出来なかった御意見などを記載して頂き郵便ポ-ストに投函願います。

(大島公民館に届けて頂いても構いません。)

○他地域における架橋後の事例紹介：山口県下関市豊北町「角島」

架橋後の生活環境の変化や、架橋にあたっての取り組み状況について、産業形態が似ている山口県下関市豊北町「角島」の事例を紹介しました。

「角島」は、平成12年度に架橋された、漁業が盛んな島で、また、ハマユウなどの稀少植物の群生地としても知られている美しい島であり、架橋後の変化が確認できることから、以下のとおり事務局で取材した内容を「気仙沼大島」と比較した形式で紹介しました。



位置・規模

▼山口県下関市豊北町

角島 (つのしま)

- 面積 3.93km²
- ⇒大島の0.4倍(大島9.05km²)
- 人口 893人(平成20年)
- ⇒大島の0.3倍(大島3,429人)

路線	所要時間	料
角島大橋	所要時間 片道30分	料 320円
角島大橋	所要時間 片道30分	料 450円

1. (角島) 交通環境の変化への対応

■渡船の廃止とバス路線の設置

町営渡船

架橋前

- ◆7便/日(町営渡船)
- ⇒大島:23便
- (旅客13便、カーフェリー10便)

◆所要時間 片道30分

◆航路延長 6.8km

◆料金 320円

25回/年 欠航

民間バス

架橋後

- ◆8便/日(路線バス)
- ◆所要時間 片道30分
- ◆路線延長 8.8km
- ◆料金 450円

数回/年 通行止(強風)

＜下関市役所(豊北支所)＞
残してほしい要望あり(理解を求めた)

住民の理解を求めた(自治体)

1. (角島) 交通環境の変化への対応

■架橋前後の変化

- ◆架橋前
 - ▼橋開通と同時に航路廃止
 - ▼高校生は寄宿生活もしくは5時半の便に乗船
 - ▼本土に駐車場(5000円/月)借りる必要
 - ▼欠航の恐れ→前日泊まり込み(小学校教諭)
 - ▼急病の時は、漁船で搬送(謝金:1万円)
- ◆架橋後
 - 😊時間を気にせず買い物
 - ▼船内での会話 × →コミュニケーションが無くなった

島民まつりの実施 (島内コミュニケーション確保のため)

1. (角島) 交通環境の変化への対応

■路上駐車・交通渋滞(来訪者による)

- ▼駐車場が不足、路上車両が溢れた
- ▼ひどいときには1km以上渋滞
- ▼夏とGWの観光期に渋滞が発生
- ▼渋滞により農作業へも影響
- ▼営業上の問題点として、路上駐車と渋滞

迂回道の整備

駐車場の増設

2. (角島) 住みよい環境づくり

【2. 生活環境】

■角島の人口推移

豊北町: 約21%減少
角島: 約17%減(//)

H12.11 開通

架橋により軽減?

■気仙沼、大島の人口推移

⇒気仙沼市: 約12%減少
⇒大島: 約25%減少

14

2. (角島) 住みよい環境づくり

【2. 生活環境】

■新しい産業の創出

☺ 商品作物への転換(イチゴ、グリーンピース)
グリーンピースは県内最大産地(架橋による搬出可能)

■漁業の変化

☺ 運搬船使用からトラック輸送へ転換(輸送コストの低減)

☺ 本土から買い付けに来る車も!

運搬方法の切り替え
商品作物への転換

H12.10.30 山口新聞 15

2. (角島) 住みよい環境づくり

【2. 生活環境】

■角島の救急出動回数

▼30~40回/年救急出動
▼架橋後出動回数2倍
☺ 応急処置までの対応時間が30分から15分へ半減

<角島緊急出動回数推移>

■架橋前
▼漁船で30分
▼急患は、県の防災ヘリ
▼事故の時は、自衛隊へ出動要請

■架橋後
☺ 救急車で15分

豊北支所(旧役場)に配備

16

2. (角島) 住みよい環境づくり

【2. 生活環境】

■ゴミ問題

▼ゴミの増加を懸念

☺ 以前: 島内焼却⇒現在: 島外処理

▼観光客がゴミステーションに大量投棄(問題化)

▼大陸からの漂流ゴミが問題

☺ 様々な団体が清掃活動(回収ゴミの処理を役場で協力)

☺ マナー看板の設置

マナー向上のため活動
ボランティアの活用

H12.12.26 読売新聞 17

3. (角島) 生活安全上の不安解消

【3. 安全】

■防犯問題

H21年8月まで9件(窃盗と自販機荒し+自転車泥棒)

<エコ・アイランド指導員>

☺ 大きな事件は未だ発生していない

▼鍵をかけねばならなくなった

▼暴走族がやってくるようになった

<下関市役所(角島支所)職員> ▼「いけす」のサザエやアワビが盗まれる

▼密猟者が増えた

▼自販機荒らしがたびたび発生

▼水上バイクによる事故

▼田畑での排泄(公衆トイレが不足)

地元で防犯について話し合い
地域の巡回を実施

18

4. 角島らしさの維持

【4. 自然】

■自然保護活動(エコアイランド指導員)

☺ 自然公園内のパークボランティアとして、エコアイランド指導員を委嘱

▼発足時9名、現在2名

☺ 活動内容は、巡回、盗撮監視、ゴミ回収

☺ 漁協の監視員らと協力

☺ ボランティアなどによりゴミは減ってきている

民間ボランティアの活用
他団体との協力

H13.10.8 西日本新聞 21

5. (角島) 地域のさらなる振興

【5. 地域振興】

■架橋に合わせ実施した事業

- ◆夢崎波の公園
- ◆角島灯台公園に隣接花の公園
- ◆キャンプ場(大浜海水浴場)
- 夏のパカンスにぴったりのキャンプ施設
- ◆コバルトビーチ
- 海水浴場の新設
- ◆その他
- 海岸、港湾、道路、交流施設 その他

架橋に併せ様々な事業を実施
計画的に整備を実施

23

5. (角島) 地域のさらなる振興

【5. 地域振興】

■観光客の変化

◇開通に伴い、急激に観光客が増加

⇒予想では15万人(予想の4倍)

⇒大島では33万人(H19)推移

◇旧豊北町の観光客の約80%が角島へ

⇒気仙沼では195万人(H19)

うち17%が大島へ

観光客が増えた(遠隔地の旅客増)(日帰り客が大半)

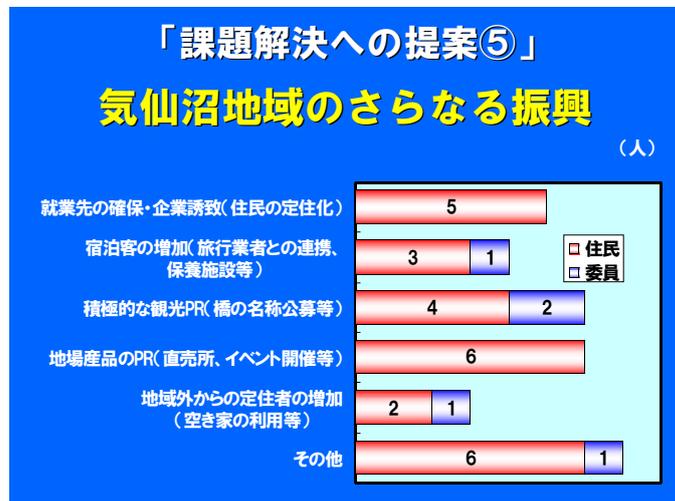
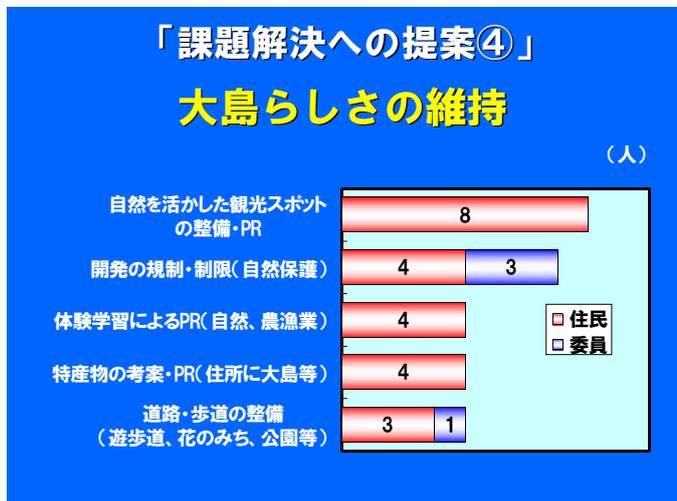
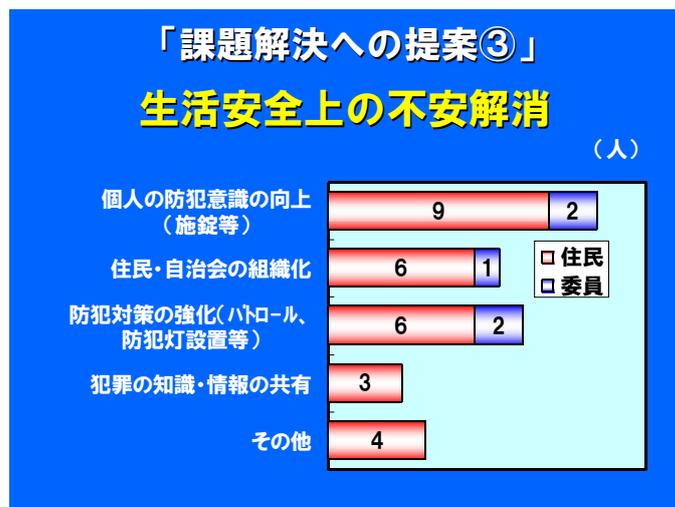
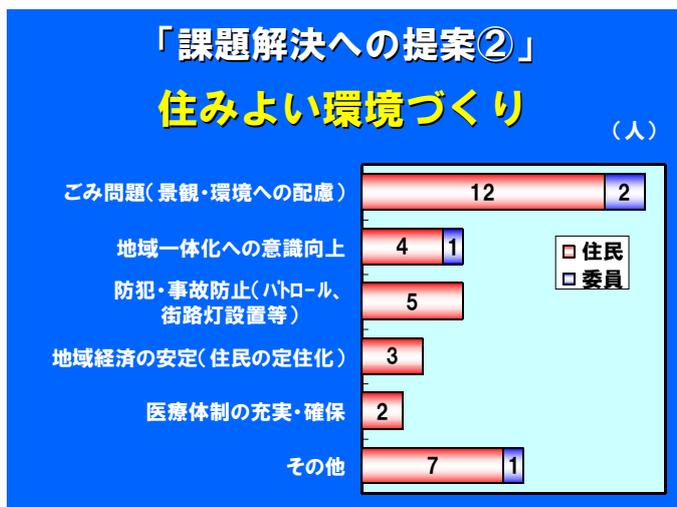
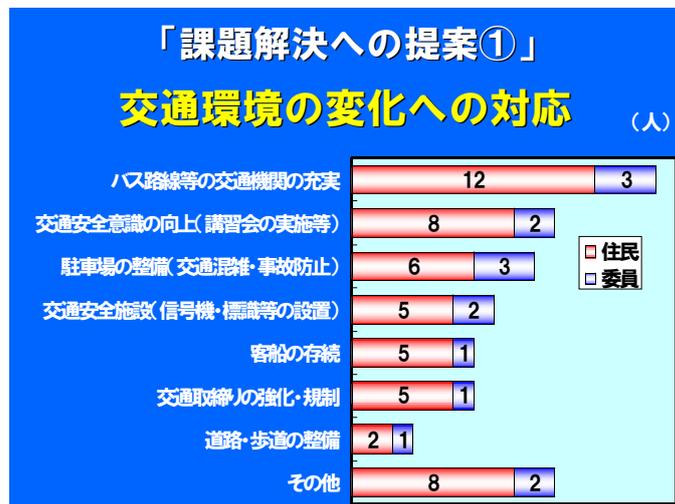
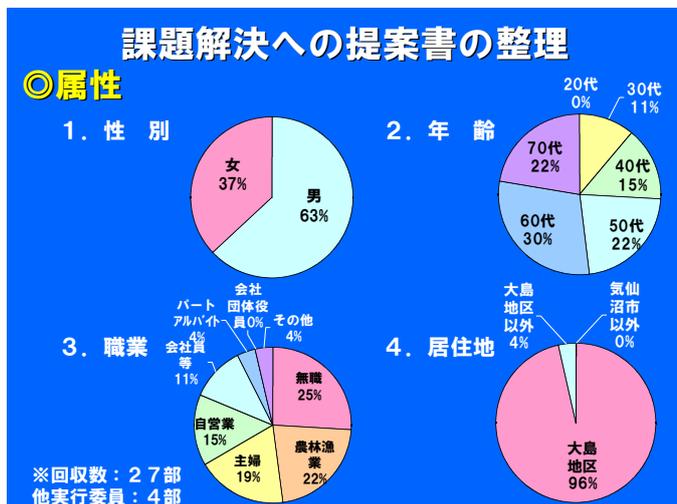
広島や北九州からも... (約200km)

24

○今回のテーマ「大島振興を考える上での課題の対応策」について

前回の第2回懇談会や出前講座により、参加者から下記の5つの「解決すべき課題」について提案を募集し、その提案内容を集計したものと、その提案結果を受けて、実行委員会で対応策として整理したものを以下のとおり報告しました。

- 「解決すべき課題」①交通：交通環境の変化への対応 ②生活環境：住みよい環境づくり
 ③安全：生活安全上の不安解消 ④自然：大島らしさの維持
 ⑤地域振興：気仙沼地域のさらなる振興



「課題の対応策」の整理

課題の対応策①

【交通】

「交通環境の変化への対応」

解決すべき課題

- 1) 急激な交通環境変化
- 2) 交通混雑
(渋滞、駐車場)
- 3) 交通事故の増加
- 4) 交通弱者への対応
- 5) 公共交通機関の確保



課題の対応策

- 1) 交通安全意識の向上
- 2) 交通施設の整備
・道路・歩道の整備
・駐車場の整備
・交通安全施設の設置
- 3) 交通取締りの強化
- 4) 公共交通機関の充実
- 5) 客船の存続

課題の対応策②

【生活環境】

「住みよい環境づくり」

解決すべき課題

- 1) ゴミの排出量の増加
- 2) 騒音
- 3) コミュニケーションの場の減少



課題の対応策

- 1) ゴミ対策
・マナーアップの推進
・ゴミの適正処理
- 2) マナーアップ活動の実施
- 3) 地域一体化への意識向上
・コミュニケーションの機会の創出
- 4) 医療体制の維持

課題の対応策③

【安全】

「生活安全上の不安解消」

解決すべき課題

- 1) 犯罪交通事故の増加
- 2) マナー悪化



課題の対応策

- 1) 個人の防犯意識向上
- 2) 住民自治会の組織化
- 3) 防犯対策の強化
- 4) 犯罪の知識・情報の共有



課題の対応策④

【自然】

「大島らしさの維持」

解決すべき課題

- 1) 乱開発の可能性
- 2) 魅力の低下
- 3) 景勝地などの汚染



課題の対応策

- 1) 開発の規制・制限
- 2) 体験学習によるPR活動
- 3) 特産物の考案・PR活動
- 4) 自然を活かした観光スポットの整備
- 5) 景勝地などのパトロールの実施

課題の対応策⑤

【地域振興】

「気仙沼地域のさらなる振興」

解決すべき課題

- 1) 離島振興法の地域指定解除による優遇措置の廃止
- 2) 本土の商圏拡大
- 3) 宿泊客の減少



課題の対応策

- 1) 優遇措置廃止による影響の理解・周知
- 2) 優遇措置廃止前の積極的な事業整備
- 3) 就業先の確保・企業誘致活動
- 4) 観光等積極的なPR活動
- 5) 地域外からの定住者の増加促進
- 6) 起業家の育成

これらの対応策を行っていくには、行政・住民・産業が一体となり、橋が架かると大島が、気仙沼がどうなるか、架かる前に自分達が何をしなければいけないか、具体的に各項目を取り上げて、それらについてよく考え、お互いを助け合いながら、連携して取り組んで行くことが重要だと考えます。

来年2月頃開催予定であります、「第4回懇談会」では、今回整理した対応策について、関係者と調整を図りながら、行政・住民・産業それぞれの立場の役割分担をしたいと考えております。

大島架橋についての「お問合せ」は [こちら](#)まで

宮城県気仙沼土木事務所 道路建設班

〒988-0034 宮城県気仙沼市朝日町1番1号

TEL.0226-24-2546(直通) E-mail:ksdbk@pref.miyagi.jp

気仙沼市 建設部 三陸道・大島架橋・唐桑最短道・本吉バイパス整備促進課

〒988-8501 宮城県気仙沼市八日町一丁目1番1号

TEL.0226-22-6600(内線567) E-mail:project@city.kesenuma.lg.jp